

## 簿記・会計

### 簿記・会計

〔Ⅰ〕 以下の取引について仕訳せよ。

- (1) A商店はかつてB株式会社の株式100株を売買目的で購入していたが（1株あたりの購入単価は5,000円、付随費用の総額は20,000円）、決算において当該株式の時価が495,000円であることが分かったため、評価替えを行った。
- (2) C商店はD商店に商品30,000円を売り上げ、代金は郵便為替証書で受け取った。なお、商品売買の記帳は3分法による。
- (3) E商店は当期中にF商店から商品5,500,000円（うち消費税額：500,000円）を掛けで仕入れ、G商店に対して商品7,700,000円（うち消費税額：700,000円）を掛けで売り上げていた。決算に際し、E商店は消費税の納付額を計上する。なお、消費税率は10%とする。

〔Ⅱ〕 インプレスト・システムを利用しているH社の以下の取引によって、小口現金勘定、当座預金勘定に転記せよ。

- 4月1日：会計係は小払用の資金として用度係に小切手100,000円を振り出して渡した。
- 4月30日：用度係から4月分の支払明細について会計係に以下の通り報告があった。  
交通費：20,000円      消耗品費：10,000円      通信費：15,000円
- 4月30日：上記の用度係からの報告を受け、会計係は支払額と同額の小切手を振り出して小口現金の補給を行った。

〔Ⅲ〕 会計法規の意義や目的、企業会計原則などとの関係について説明せよ。